

Library Information

図書室からのお知らせ

■丘修三さんが来館



図書室に来館された丘修三さん

本町出身の児童文学作家・丘修三さんが、10月27日(木)に来館されました。後日、著書10冊を寄贈していただきました。ありがとうございました。丘さんの作品は、特集コーナーでご覧ください。

この国の未来を変える戦いに挑む 吉田 修一著 / 『平成猿蟹合戦図』



朝日新聞出版
小説

新宿で起きたひき逃げ事件、平凡な暮らしを踏みにじった者たちへの復讐(ふくしゅう)が、すべての始まりだった。年齢も職業も境遇も違う、心優しき8人が、まるで糸がよじれるように関わり合い、この国の将来を決める「戦い」に挑んでゆく。思いもよらぬ結末はじんわり温かく、爽快(そうかい)な読後感が元気をくれる一冊です。

女性の健康と美、やる気を引き出す 再春館製薬所編 / 『ニッポンいちの社員食堂』



主婦の友社
娯楽教養

再春館製薬所の評判の社食レシピ。「医食同源」という漢方の考え方により、旬の食材を使ったバランスのいいメニューは、ひと皿で健康、美、やる気を引き出すと評判。副菜だけでも100品以上を含み、たれ類、漬物、デザートレシピまでたっぷり紹介。シンプルな料理が多くてすぐ作れるので、毎日のおかずや弁当作りにうれしい一冊。

夢を実現する逆算のマネジメント 川島 英嗣著 / 『準備する力』



角川書店
一般書

サッカー日本代表ゴールキーパー・川島選手の著書。情熱的なプレースタイルの反面、その素顔は沈着冷静で知性派。4か国語を操り、読書を好み、料理を楽しむ。彼が実践してきた成功をつかむための「逆算のマネジメント」とは。文章も丁寧で読みやすく、ファンにはもちろんのこと、自己啓発に役立てていただけるお勧めの一冊です。

7年60億円の「はやぶさ」の旅 山下 美樹著 / 『はやぶさ』がとどけたタイムカプセル』



文溪堂
児童書

ボクは「はやぶさ」。「いとかわ」という星まで探検してくるようになったんだ。長い旅には、つらく苦しいことがありそうだけど、がんばるんだ!。小惑星探査機「はやぶさ」のキセキと感動の物語。「はやぶさ」の目線の物語仕立てになっているので分かりやすく、「はやぶさ」に共感しながら読むことができ、読み聞かせにもお勧めです。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-1111(内線331)
E-mail klg110@town.kosa.lg.jp

町生涯学習センター図書室のご利用について

■ 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

時には、童心に返って本を読んでもみたいと、丘修三さんの「ブンタとタロキチ」を読みました。ブンタとタロキチは、とてもいい友達だけケンカもします。ある日、沢ガニをとりに行き、タロキチのバケツに大きいカニばかり入っているのを見て、ブンタは怒って帰ってしまいました。タロキチは仲直りしたいと、ブンタのところに行きました。

今月の案内人



内田のぶ子さん
(岩下一区)

行く途中タロキチは、「自分が大きいカニをとるのはあたりまえだ」、「いやいややっぱりブンタにも大きいのをやらなくては」、「でも取ったのは自分だから大きいのでいいん

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『ブンタとタロキチ』(丘 修三著)

キツネのブンタと、タヌキのタロキチはともだち。ともだちだけど、けんかもします。けんかもするけど、やっぱりともだち。本町出身の絵本作家・丘修三さんの作品です。

だ」、「でも、ブンタも石をもち上げてくれたし」と、タロキチは、ブンタの家に行く途中でいろんな言い訳を考えながら、ブンタの家のドアをたたきました。ブンタのバケツにも、大きいカニを入れて仲直りです。

私は、今でもタロキチみたいに、何か起きるといつも自分に都合のいい言い訳を考え、自分を正当化します。何だか私も、タロキチと変わらないんだと思いました。

皆さんも、ぜひ読んでみて下さい。

きつと、思い当たることがあるんじゃないでしょうか。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか?

町生涯学習センター図書室

TEL 096-234-1111(内線331)

E-mail klg110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

平成23年度優良公民館 文部科学大臣表彰受賞

11月18日(金)東京都の文部科学省で、平成23年度優良公民館として、町公民館が文部科学大臣表彰を受賞しました。

表彰理由として、地域住民の関心が高い講座の開催や、



▲優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞した高田館長

町公民館と自治公民館との連携協力によって開催している出前講座の実施、大人と子どもが地域行事やレクリエー

▶町公民館自主講座のご案内

「初めての韓国語」集中講座

●開催日程 平成24年1月10日(火)～2月2日(木)、毎週火・木曜日の午後7時～午後9時

●会場 町生涯学習センター研修室

●講座内容 韓国語を初めて学ぶ人を対象に、ハングルを読み簡単なあいさつや自己紹介ができるようにする。

●講師 後藤祐司さん(ソウル大学校言語学科・博士課程)

●授業料 1,000円程度

●参加対象 中学生以上

※町公民館に、事前に受講申し込みをしてください。

●公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局

☎096-234-1111(内線321)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

▶第3回町民大学 心を込めた絵手紙教室

11月15日(火)町生涯学習センター研修室で、第3回町民大学「絵手紙教室」を開催しました。

講師に熊本さわやか長寿財団の北野智子さんを招き、心温まる旬のお便りを届ける絵



▲絵手紙の描き方について説明する講師の北野さん

で、はがきに筆で熱心に個性豊かに絵を描きました。

北野さんは「絵手紙7か条」として、「下手が良く、よく見て大きく描いて、一発勝負で線を大きく、心込めた言葉を添えて必ず出す」と指導。受講生たちの作品は、素晴らしい出来映えのお便りとして仕上がりました。

手紙を制作。受講生20人は各自が準備した柿やミカン、玉ネギなど季節の果物や野菜を一心に見つめて、下書きなし

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

熊本県人権教育研究大会上益城大会

10月15日(土)・16日(日)、熊本県人権教育研究大会が、上益城郡内に11年振りに開催されました。大会テーマ「部落差別の現実から深く学び人間を尊敬し、人と結び、豊かな関係に高めうる教育の営みへ」、地元テーマ「心をむすぼう 思いをつなごう 笑顔が命がかがやく未来を上益城から」の下で行われました。

1日目は益城町を主会場に、地元特別報告として「あるがままに生きたい」と題し、湧上昭六さん(嘉島町)が、「自分が自分であるために、自分

らしく生きるために自分を振り返ります」と、自分の人生を話しました。

記念講演では、「人間の値打ちは地面では決まらない」と題し、近畿大学人権問題研究所教授社会学博士の奥田均さんが講演しました。

2日目は、郡内18会場で分科会があり、本町では、各小学校と県立甲佐高等学校が会場となり、各会場50～75人が参加して開催しました。レポートによる研修にはフロアからは多数の質問があり、積極的な研修が行われました。家庭・学校・地域が連携し、どのような取り組みを進めていけばいいのかを学びあった大会となりました。

甲佐町学校人権教育部会授業研究会

11月9日(水)に、龍野小(4年)・白旗小(3年)・甲佐中(1年)の3校において、町外協力者を迎え、人権教育に係る授業研究会を通して教職員の基本的認識を深めるとともに、各学校間の連携を深めることを目的に研究会が開催されました。

●人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-1111(内線323)
✉klg110@town.kosa.lg.jp